

令和5年度第1回 ゆうきの里を育てよう連絡協議会合同会議 議事録

1. 開会・進行

田中課長

2. 役員選出

会 長 北沢町長

副会長 松下農業委員会会長

3. 協議事項

- (1) R5の事業計画について（有機農業産地づくり支援事業）（宮島係長説明）
全てが実施可能なものではないかもしれないが、検討をしていくように計画している。
- (2) R4オーガニック給食アンケート結果（宮島係長説明）
今後も継続的にアンケートを取っていきたい。
- (3) 10月設立予定 農業法人の設立について（共有）（宮島係長説明）
今年度10月を設立予定とし、4月より農業法人立上げ推進委員を迎え、準備を一緒に行っていく。
- (4) 松川農業基本計画について（共有）（宮島係長説明）
令和6年4月から10年間の計画とする予定。
7月・9月に農業振興会議と合同でワークショップを実施し、総合計画と併せてパブリックコメント等を実施予定。

4. 自己紹介

5. 各団体からの活動及び課題・提案事項などの報告

ゆうき給食とどけ隊会長

農産物の生産には力を入れていくが、計画してくれている事業はもちろん、学校の子どもたちともいろいろな体験を通してともに学ばせていただきたい。

ゆうき給食とどけ隊副会長

サステナアワードでの受賞で多くの方に活動を知ってもらい、知名度が上がった。全国的に取り組んでいるので、できるだけトップリーダーとして頑張っていきたい。

農業委員会代理

農業委員でもあるが、地域の遊休農地を活用して有志の団体としてとどけ隊にも所属している。玉ねぎやじゃがいもも張り切って育てている。協力していきたい。

教育長

いろいろなところで全国的にゆうき給食が認められており、町として誇りに思う子どもたちも給食をおいしく食べているとのことで本当にありがたいと思っている。ただ品質や大きさなどまだ課題があると承知している。調理員からは、おいしいが加工に手間がかかるなど負担があるということを知っている。調理員の負担を減らしながらおいしい給食を提供できたらと思う。

北沢町長

大変遅れて申し訳ありません。

ゆうきの関係では昨年、視察研修をご一緒させていただいた。その際は作る側ではなく販売する側で応援していきたいと思っていた。今回このように立場が変わったので、当然町としても既存の農業もあるが遊休農地対策から始まったこのゆうきの里を育てようという対策、学校給食をはじめ育てている最中だと思う。みんなで育てている芽を温かく見守りながら大きなものにしていきたい。全国的にみても町がスポットを当てられているところもあるので、これも大切にしながら情報発信をしっかりしていきたいと思っている。

中学校栄養士

試食会を11月に予定しており、保護者の方にもゆうき野菜のおいしさを届けられたらと思っている。

中央小栄養士

児童会でもとどけ隊の圃場に見学に行かせていただく。学校職員も積極的に取り組んでくれており、これからも交流を深めていきたい。また、おいしい野菜の利用の仕方を調理員と研究し、保護者や町民の方に情報を届けていきたいと思っている。形がどうのではなく、おいしいものをどのように届けるかが仕事だと思っている。心を込めて作って下さった農家さんのおいしい野菜に負けないような給食を作ることを頑張っていきたい。

北小栄養士

学校職員がその気になって学校に食育が広まると思っている。風通しを良くして学校全体で取り組める食育、そしてゆうきの良さをもっと広めていくためにも職員をまきこんでいくことが課題だと考えている。

町栄養士

町の食育推進計画も第2期の策定にとりかかるので、農業基本計画との連携を図っていききたいと思う。

保育園栄養士

昨年12月よりゆうき野菜を取り入れている。子どもたちも甘さや色の鮮やかさについて目で見て感じて喜んでいる。畑の訪問などもしていきたい。子どもから保護者に伝わるようにしていきたい。

南信州農業農村支援センター

町外（行政）からゆうき栽培についてやゆうき給食の取組みについて相談や話があるので、松川町で毎月圃場研修しているから参加したらどうかななどと案内している。松川町は多い方ではあるが、エコファーマーや環境にやさしい認証など申請（再認定）する方が減ってきている。地域から発信するには環境に配慮している方が多いと良い

と考えているので、再認定も増えるように進めていきたい。

J Aみなみ信州松川支所

ゆうきだけでなく環境にやさしい農業として、バイオマス施設（循環型農業）の検討も具体的にしていけたらと思う。畜産農家も含まれると思うが、循環できるような体制整備を取組みたいと思う。化学肥料が高騰していて現実的に肥料が買えない事態もある。ゆうき堆肥の使用なども進められている。

農業委員会長

農業委員会で計画して千葉県いすみ市に視察に行ったことがスタートだと思っている。ここ数年で一気に松川町の取組みが発信されているように思う。まだこれから育てていく段階だと思っているので、協力しながら取り組んでいきたいと思っている。

農業法人推進員

飯田市の保育園ではゆうき野菜を提供していたが、園長と給食担当者が変わったら流通が止まってしまったとの話を聞いた。松川町ではいつまでもこの流通が続くように取り組んでいきたいと思う。

北沢町長

公約の中でも子育て支援を掲げている。「健康な体は食べ物から」ということを菌ちゃん先生やいろいろな方から教わり、大切だと思っている。担当が変わると取組みが消えるといったことが無いよう、行政としても支援していきたいと思う。

6. 閉会